

柘植地域

まちづくりだより

第278号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

2022(令和4)年3月1日(火)

発行日

柘植地域俳句コーナー  
音立てて

引けば輝入る

大蕪

中森 三津子

オミクロン株・急増中  
過去最大の感染状況

東京都を筆頭に大阪府・愛知県の3大都市圏に於いては、オミクロン株の感染拡大は留まるところを知らず、感染者数は連日増え続け過去最大を更新中。大阪・名古屋に隣接する伊賀市・名張市の伊賀地区に於いても、新型コロナウイルス／オミクロンの脅威は未だ収まっておりません。

3回目の「ワクチン接種」(ブースター接種)を1日も早く受ける事が、現時点で最も必要不可欠な対策為るも、遅々として進んでおらず、併せて小児・若年世代へのワクチン対策も、急を要する事態です。

コロナ禍と云われて久し 早3年・・・此の闘いは、人類にとって極めて「英知」が試される大きな試練ですが、有史以来、人類は数々の「ウイルスとの闘い」に打ち克つて来ました。

今般の闘いに於いても必ずや克服するものと確信しますが、その代償犠牲が余りにも

大き過ぎた事が悼まれる次第です。世界中で、592万人余りの人々が亡く無った悲惨なる事実は、極めて深刻な感染症の負の歴史として刻まれる事でしょう。

市民センター職員／3人体制に移行  
「生涯学習支援員」1名増員・常駐

◆令和4年4月度から、各地区「市民センター」の職員が現行の2人から「生涯学習支援員」の1名を加えた、3人体制に増員されます。(上野は既に3人体制に移行済) ▼背景事由として、従来在った地区公民館(いがまち・阿山・島ヶ原・大山田・青山)が廃止される事に伴い、此れ迄の地区公民館活動(公民館サークル等)を、生涯学習支援として代替する為の手法と為ります。

所管は伊賀市教育委員会で、曰く「生涯学習」とは私たちが生涯を通して行うあらゆる学習活動、すなわち家庭教育、学校教育、趣味などの文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、ボランティア活動等を含む社会教育の機会や場において、

主体的に行う学習全般を指して用いられます。

人口減少の中においても持続可能な社会を構築するためには、「誰でも、いつでも、どこでも学び、成果をまちづくりに生かす」生涯学習の推進が欠かせません。生涯学習は一人ひとりの人生を豊かにするとともに本市が掲げる「住民自治のまちづくり」の推進にも資するものです・・・と謳っています。

新たな生涯学習推進体制として、上野の中央公民館(伊賀市生涯学習センター)に集約し活動拠点を各地区市民センターとする。

上野の生涯学習センター(中央公民館に所在)には「社会教育指導員」3名(地区担当制)を配置し、その指導・助言のもとに各地区市民センターに「生涯学習支援員」を1名づつ常駐させる・・・として居ます。

「生涯学習支援員」の募集は伊賀市のホームページ並びにハローワークにて公開公募されたもので(1月31日～2月14日)会計年度任用職員として雇用されます。

◆巨大カボチャ(アトランティックジャイアント)の栽培コンテストのお知らせ

昨年晩夏、小杉区の松山武宏さんと松山隆治さんに依り栽培された「巨大カボチャ」(アトランティックジャイアント)を市民センター玄関にも飾って戴きました。

此の巨大カボチャの「種」を、栽培希望の有る市民の皆さんに広く頒布し、育てて貰ってその大きさを競う「コンテスト」を計画しています。興味の有る方は、是非挑戦してみてください。《産業交流部会の活動の一環として、種は市民センターにて頒布》



収穫した「種」は、これらです。



◆「キラッと輝け!地域応援補助金」応募申請の件・・・「柘植駅を守る会」が伊賀市から受託している柘植駅窓口業務

に関して、持続可能な運営が出来るよう、経費及び人的支援を行うべく補助金の応募申請中です。【補助金申請額・50万円】

事業計画/柘植駅改札口待合スペース活用  
に依る「ユーズドブック(中古本)設置・ギャラリー・伝言板の創設・ミニコンサート等イベント開催」・・・本や写真、伝言板を通して地域住民の繋がりを促進。更にイベント等の開催に依り、駅周辺の賑わいを創出して行こうという取組みです。

三重県で最初に出来た鉄道駅「柘植駅」開業132周年を記念する事業としても、有効な事業計画と位置付けています。

◆公益財団法人「岡田文化財団」

公募助成先 決定

2022年度、三重県に於ける助成先は132件/助成総額・7023万円の内、「柘植の昔ばなし冊子増刷」へ柘植の歴史文化啓発)に対して、10万円の助成金の交付が決定しました。

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

弥生三月「待ち侘びし 春来たれども 早春譜」の感有り/『春は名のみ風の寒さや 谷の鶯「うぐいす」歌は思えど 時にあらずと 声も立てず』「早春賦」 作詞・吉丸一昌

然し乍ら「桜」が咲く迄あと一か月・・・  
◆『世の中に絶えて桜の 無かりせば 春の心はのどけからまし』 《在原業平》古今和歌集/伊勢物語より

▼世の中に桜と云うものが無かったなら、春に為っても、桜が咲くのを待ち遠しがったり、散るのを惜しんだりする事も無く、どんなにか穏やかな気持ちで過ごせるだろうに/桜が為に思い煩う複雑な心情を詠んで桜の魅力・春の悩ましさを描いています。

此の歌には有名な「反歌」が有ります。  
◆『散ればこそいと桜はめでたけれ 憂き世になにか 久しかるべき』・・・《詠み人知らず・作者未詳》

▼桜は惜しまれて散るからこそ素晴らしいので在って、此の世に永遠為るものは何も無いのだから・・・

◆『定め無き 浮き世の中と 知りぬれば いくこも旅の 心地こそすれ』 《高野法親王 覚法》千載和歌集より

▼此の世の中は無常で或る。と知ってしまつて以来、何処に居ても旅の心地がする。

▼小生、退院後一ヶ月半、経過しましたが、汚水の中に落ちて、折れた骨が足の外へ飛び出した開放骨折の為、医師から「感染症との闘いに為ります。」と言われ、現在も整形外科外来で定期的に経過観察を受けて居ります。2ヶ月半の入院欠勤で皆様には大変御迷惑をお掛け致しました事、此の段改めて謹んでお詫び申し上げます。《清水》